

メイドインひろしまIoT協議会

M i H i A の概要

(M a d e I n H i r o s h i m a I o T A s s o c i a t i o n)

2020年 4月13日

メイドインひろしまIoT協議会

事務局：株式会社インタフェース内

メイドインひろしまIoT協議会

Made In Hiroshima IoT Association

略 称：MiHiA（ミーア）

（名称の意味）

IoT・AIによる様々な事業の変革が進んでいますが、首都圏企業の独壇場のようなところがあり、地方都市が置き去りにされそうな危惧があります。そこで敢えてMade In Hiroshimaを広島発IoTビジネスの接頭語に掲げ、県内でIoTによるビジネス拡大を志向する企業の皆様に集まっていただく“場”を立ち上げることといたしました。

ミーア(mia)というのはイタリア語で、「私の」という意味です。

協議会は個々の参加企業（私）を大事にした運営を目指します。

MiHiAの輪



IoTは共通の技術基盤から！



MiHiAの場

本協議会は、参加企業がIoTによるビジネス拡大を実現する『場』の提供を目的とします。

- ①モノづくり企業がIoT製品メーカーの提供するハード、ソフトを有効活用し、既存システムとの連携をとりつつ、IoT導入による生産性向上を実現する場
- ②IT企業とFA企業がそれぞれの不得手な領域を克服し、IoT導入事業の新たな需要を開拓する場
- ③モノづくり企業、IT企業、FA企業、IoT製品メーカーが連携することにより、メイドインひろしまIoT製品・サービスを作り出す場

会長挨拶

IoTは、コンピュータの歴史が始まって多くのエポックがあった中でも、パソコンの登場、インターネットの出現に匹敵する大きな変革のキーワードであると考えています。コンピュータの極限までの小型化・高性能化、5Gで実現される通信ネットワークの超高速化、実用段階に入ったAI人工知能の益々の適用拡大は、新たな産業革命を起こそうとしています。

そこで課題となるのが、地方都市広島でビジネスを営む我々中小企業にとって、IoTのトレンドを如何に、自らのビジネスに生かすことができるかだと思います。IoTは、技術革新における一つの技術概念と思いますが、適用範囲が広範囲なことから、ビジネスとしてどこから手を付けてよいのか戸惑われている企業が多いのではないのでしょうか。私は、IoTにおける核となる技術基盤を習得・共有し、適用範囲を定めることにより、「広島発、全国へ、そして世界へ」と羽ばたけるのではないかと考えました。

幸い広島には、計測と制御の分野で30年間に及びインターフェース機器と産業用コンピュータを開発し、全国の様々な大手企業の生産設備、社会インフラ、各種車両搭載機器として実績を持つIoT製品メーカーがあります。本協議会の発起人企業10社のうちの1社インターフェース社です。

私は、IoT製品メーカーの様々な製品群の中で、IoT開発言語AJANに注目しています。AJANは、例えばC言語に比較すると3分の1から4分の1のステップ数でプログラムを書くことができます。私は、IoT開発言語としてのAJAN言語が、島根県のRuby言語と同様な成功を実現できると信じています。

広島県下の製造業、ソフトウェア企業、FA企業、IoT製品メーカーが共通の技術基盤を持つIoTクラスターとなり、IoT製品メーカーの持つ先端的な製品・技術を共通基盤技術として、「メイドインひろしまIoT」の名のもとに「広島発、全国へ、そして世界へ」を目指しましょう。

MiHiAは、IoTによりビジネス成長を目指す正会員の皆様のみならず、賛助会員として、ひろしまサンドボックス、広島銀行、ひろしま産業振興機構、広島県立技術短期大学校、また、県外の先端的な企業の皆様のご支援も頂けることとなっています。

ALL広島ので、IoT・AIによるイノベーションを実現しましょう。

協議会会長 福井五郎

(前 一般社団法人広島県情報産業協会 会長)

協議会とは

IoT・AIによるイノベーションは、今後の産業発展の中核技術として脚光をあびていますが、範囲の広い技術領域であることから、各業界が手探りの状態で取組んでいるように思われます。既に、広島県サンドボックス事業等がIoTに関わる異業種連携に取組まれて成果を出されていますが、焦点を絞った上で連携する企業集団による、継続的なモノづくりへの取組みが必須ではないでしょうか。

私たちは、IoT事業を推進するために、広島に事業所を置くIoT導入を目指す製造業・IT系ソフト開発企業・FA系エンジニアリング企業・IoT製品メーカーが持つそれぞれの技術を融合・研鑽するための協議会「メイドインひろしまIoT協議会（MiHiA）」の設立を考えました。

本協議会は、参加企業がIoTによるビジネス拡大を実現する『場』の提供を目的とします。

- ①モノづくり企業がIoT製品メーカーの提供するハード、ソフトを有効活用し、既存システムとの連携をとりつつ、IoT導入による生産性向上を実現する場
- ②IT企業とFA企業がそれぞれの不得手な領域を克服し、IoT導入事業の新たな需要を開拓する場
- ③モノづくり企業、IT企業、FA企業、IoT製品メーカーが連携することにより、『メイドインひろしまIoT製品・サービス』を作り出す場

■ 名称

メイドインひろしまIoT協議会 略称：MiHiA（Made in Hiroshima IoT Association）

■ 設立

2020年4月13日 設立総会にて

■ 目的

本協議会は、IoT・AIで総称される新しいビジネス分野に中小企業が対応するために、IoT・AIシステム開発の基盤となる製品群を活用することにより、参加各社の対応技術力向上と、新製品開発の連携を行うこと、そして、IoT・AI技術の発展に資することを目的とする。

■ 事業内容

- (1) IoT・AIシステムに関する調査及び研究
- (2) IoT・AIシステムに関する情報交流
- (3) IoT・AIシステムに関する普及啓発
- (4) IoT・AIシステムに関する標準化の推進
- (5) IoT・AIシステムに関する共同受注・共同開発の推進
- (6) その他本協議会の目的を達成するために必要な事業

■ 発起人

| | | |
|-----------------|---------|------|
| 株式会社アドバンステクノロジー | 代表取締役 | 濱中政宏 |
| 株式会社インタフェース | 代表取締役会長 | 國司 健 |
| 株式会社エコー・システム | 代表取締役社長 | 宇郷 亮 |
| 株式会社TCC | 代表取締役 | 藤井主峰 |
| 東洋電装株式会社 | 代表取締役 | 桑原弘明 |
| 株式会社ネクストビジョン | 代表取締役 | 有馬猛夫 |
| 株式会社ハイエレコン | 代表取締役社長 | 上田康博 |
| ヒロコン株式会社 | 代表取締役 | 和田裕幸 |
| 平和情報システム株式会社 | 代表取締役社長 | 山下 晶 |
| FK企画 | 代表 | 福井五郎 |

組織構成・会則

■ 組織構成

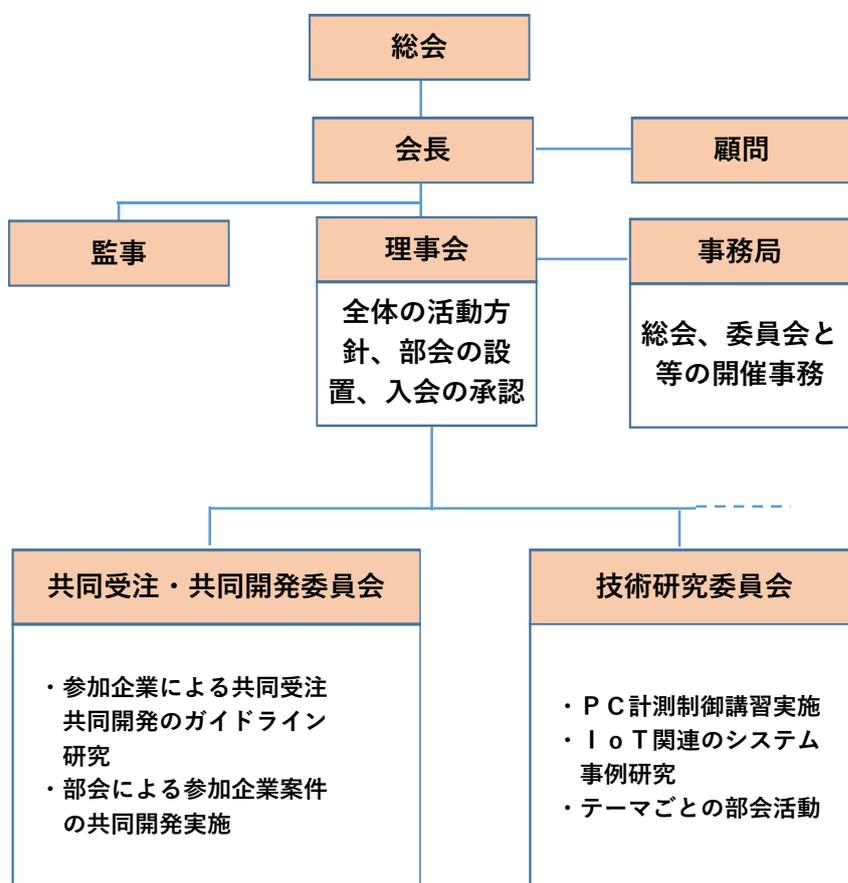
役員

| | | |
|------|-------|-------------------------|
| 特別顧問 | 國司 健 | (株式会社インタフェース 代表取締役会長) |
| 会長 | 福井 五郎 | (F K企画 代表) |
| 理事 | 有馬 猛夫 | (株式会社ネクストビジョン 代表取締役社長) |
| 理事 | 上田 寛治 | (デジタルソリューション株式会社 代表取締役) |
| 理事 | 上田 康博 | (株式会社ハイエレコン 代表取締役社長) |
| 理事 | 鎌田 尚彦 | (株式会社インタフェース 取締役) |
| 理事 | 川野 和彦 | (株式会社メカトロデザイン 社長補佐) |
| 理事 | 桑原 弘明 | (東洋電装株式会社 代表取締役) |
| 理事 | 藤井 主峰 | (株式会社TCC 代表取締役) |
| 監事 | 宇郷 亮 | (株式会社エコーシステム 代表取締役社長) |
| 監事 | 濱中 政宏 | (株式会社アドバンステクノロジー 代表取締役) |

正会員 法人会員 17組織 、 個人会員 1名

賛助会員 法人会員 5組織 、 団体会員 1組織 、 個人会員 1名

組織図



■ 会則

第1条（名称）

本協議会は、「メイドインひろしま IoT 協議会」と称する。略称を MiHiA(Made in Hiroshima IoT Association)とする。

第2条（目的）

本協議会は、IoT・AI で総称される新しいビジネス分野に中小企業が対応するために、IoT・AI システム開発の基盤となる製品群を活用することにより、参加各社の対応技術力向上と、新製品開発の連携を行うこと、そして、IoT・AI 技術の発展に資することを目的とする。

第3条（事業）

本協議会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) IoT・AI システムに関する調査及び研究
- (2) IoT・AI システムに関する情報交流
- (3) IoT・AI システムに関する普及啓発
- (4) IoT・AI システムに関する標準化の推進
- (5) IoT・AI システムに関する共同受注・共同開発の推進
- (6) その他本協議会の目的を達成するために必要な事業

第4条（会員）

1. 本協議会は、本協議会の目的に賛同し、入会の承認を受けた企業、団体、並びに、個人の会員をもって組織する。会員の種別は次の通りとする。

- (1) 正会員：法人、団体、個人
- (2) 賛助会員：会を支援する法人、団体、個人

2. 正会員は、広島県に本社を置く法人、広島県を活動の中心とする団体、広島県に居住する個人とする。

第5条（入退会）

1. 本協議会に入会しようとする者は、指定された方法により申し込み、理事会の承認を受けなければならない。

2. 本協議会を退会しようとする会員は、その旨を指定された方法により届け出なければならない。

3. 本規約を遵守しないとき又は協議会の名誉を毀損する行為があったとき若しくは次の各号の一に該当すると認められるときは、当該会員を退会させることができる。

(1) 法人等（個人、法人又は団体をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）であるとき又は法人等の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が、暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき。

(2) 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき。

(3) 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき。

(4) 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれと社会的に非難されるべき関係を有しているとき。

4. 会員が次の各号の一つに該当するときは、退会したものとみなす。

- (1) 法人会員として入会した法人又は団体が、解散し又は破産したとき
- (2) 個人会員として入会した個人が、死亡又は失踪宣告を受けたとき

第6条（役員）

1. 本協議会に、次の役員を置く。

- (1) 会長（1名）
- (2) 理事（5名以上10名以下）
- (3) 監事（2名）

2. 会長、理事、監事は総会により選任する。

3. 役員任期は、選任された総会の次の定期総会までとし、再任を妨げない。

4. 監事は、本協議会の収支決算について監査し、理事会に報告する。

第7条（総会）

総会は、年1回開催する。但し、必要に応じ臨時に開催することができる。

1. 総会は正会員の2分の1の出席をもって成立する。
2. 総会は会長が主催し議長を務める。
3. 総会の議事は、出席した正会員の2分の1をもって成立する。但し、可否同数の場合は議長の決するところによる。
4. 総会は次の事項を議決する。
 - (1) 事業計画及び報告並びに運営に関する事
 - (2) 予算及び決算に関する事
 - (3) 会則の改正に関する事
 - (4) 理事、監事の選出に関する事
 - (5) その他、重要と認められる事項

第8条（理事会）

1. 本協議会に、理事会を置く。
2. 理事会は、理事、監事及び事務局をもって構成する。
3. 理事会は、本協議会への入会申し込みを承認するほか、本協議会の運営に関して重要な事項、及び会長が必要と認めた事項について協議し、決定する。
4. 理事会は、必要に応じて開催する。
5. 理事会は、会長が主宰する。

第9条（顧問）

1. 本協議会は、本協議会の目的を達成するために必要と認められる場合には、外部の有識者等を顧問（若干名）として委任することができる。
2. 顧問は、本協議会の事業に関して助言を行う。
3. 顧問の委任は、理事会で定める。

第10条（委員会等）

1. 本協議会は、必要に応じて、委員会を置くことができる。
2. 委員会の設置、構成及び委員長は、理事会で定める。
3. 委員会は、外部の有識者等をその構成員とすることができる。
4. 委員会には、部会及びWG（ワーキンググループ）を置くことができる。

第11条（年会費）

1. 正会員は会計年度ごとに年会費を納入しなければならない。
2. 年会費は年間2万円とする（但し賛助会員は無料とする）。
3. 正会員が既に納入した年会費は、原則これを返還しない。

第12条（会計年度）

本協議会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第13条（事務局）

1. 本協議会は、会長の総理の下、本協議会の会務を処理するため、事務局を置く。
2. 事務局は、株式会社インタフェース内に置くこととし、同会員が事務を行う。

第14条（その他）

この規約に定めるもののほか本協議会の運営上必要な事項は、理事会が別に定めるものとする。

附則

1. この会則は、設立の日（2020年4月13日）から施行する。

M i H i A 2020年度事業計画書

(2020年4月1日～2021年3月31日)

1. 活動方針

本協議会は、IoT・AIで総称される新しいビジネス分野に中小企業が対応するために、IoT・AIシステム開発の基盤となる製品群を活用することにより、参加各社の対応技術力向上と、新製品開発の連携を行うこと、そして、IoT・AI技術の発展に資することを目的とする。

本協議会は、前項の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) IoT・AIシステムに関する調査及び研究
- (2) IoT・AIシステムに関する情報交流
- (3) IoT・AIシステムに関する普及啓発
- (4) IoT・AIシステムに関する標準化の推進
- (5) IoT・AIシステムに関する共同受注・共同開発の推進
- (6) その他本協議会の目的を達成するために必要な事業

当協議会は、参加企業がIoTによるビジネス拡大を実現する「場」の提供を目的とするもので、異業種である各企業が連携し、メイドインひろしまによる発展を実現する。

- ①モノづくり企業がIoT製品メーカーの提供するハード、ソフトを有効活用し、既存システムとの連携をとりつつ、IoT導入による生産性向上を実現する「場」
- ②IT企業とFA企業がそれぞれの不得手な領域を克服し、共同受注・共同開発を通してIoT導入事業の新たな需要を開拓する「場」
- ③モノづくり企業、IT企業、FA企業、IoT製品メーカーが連携することにより、『メイドインひろしまIoT製品・サービス』を作り出す「場」

2. 活動計画

(1) 理事会の役割

理事会は、会則に定める議案の議決機関であるとともに、協議会の活動内容を審議決定する幹事会の役割を持つ。各委員会の委員長には理事が就任することとし、理事会の中で委員会の活動報告並びに必要な審議を行う。理事会の開催は、2カ月に1度程度とする。

理事会には、MiHiAの支援をお願いする賛助会員に参加いただき、MiHiAの目的達成のための意見交換を行う。

(2) 全体会議の開催

理事会主導で年に3回以上を目途に、会員全員が参加する全体会議を開催し、先進的なIoT・AIの現状や先進的な技術動向等の学習を行う。

(3) 委員会活動

当面設置を予定している「共同受注・共同開発委員会」と「技術研究委員会」を組織し、状況に応じて具体的な活動を行う「部会」「WG」を編成する。

本年度前半の活動において各委員会は以下の活動を行う。

①技術研究委員会

技術研究委員会は参加各企業が、IoT開発製品のハードウェア仕様の理解とソフトウェアの開発の技術基盤を習得する講習会を主催し、メイドインひろしまによるシステム開発における知識・スキルの共通化を行う。

講習会は、経営幹部を対象とした概論テーマと技術者を対象とした詳細テーマに分けて実施する。

②共同受注・共同開発委員会

共同受注・共同開発委員会は、共同受注・共同開発を行う上で必要となる会員の持つ技術分野の調査・整理を行うとともに、共同受注・共同開発を実施する場合のガイドライン・規約づくりに取り組む。

4. 講習会の開催（案）

技術研究委員会が検討を行う講習会のカリキュラム案を以下に示す。

- (1) 幹部向けIoT・AI講座（IoT・AI事業方針を定める幹部向け研修）
- (2) IoT開発言語AJAN基礎講座
- (3) 産業用コンピュータと各種インターフェースデバイスの活用講座
- (4) IoT開発言語AJANの接続デバイス別モデルシステム解説講座
- (5) SDN（ソフトウェア定義ネットワーク）の解説講座
- (6) エッジコンピュータの機能と活用講座

M i H i A 会 員 名 簿

2020/4/13 現在

< 正 会 員 >

| NO | 業種 | 会 社 名 | 所 属 | 役 職 | 氏 名 |
|----|----|-----------------|---------|---------|-------|
| 1 | IT | FK企画 | | 代表 | 福井 五郎 |
| 2 | IT | 株式会社エコー・システム | | 代表取締役社長 | 宇郷 亮 |
| 3 | IT | 株式会社ネクストビジョン | | 代表取締役 | 有馬 猛夫 |
| 4 | IT | 株式会社ハイエレコン | | 代表取締役社長 | 上田 康博 |
| 5 | IT | 株式会社アドバンステクノロジー | | 代表取締役 | 濱中 政宏 |
| 6 | OT | 平和情報システム株式会社 | | 代表取締役社長 | 山下 晶 |
| 7 | OT | 株式会社 TCC | | 代表取締役 | 藤井 主峰 |
| 8 | OT | 東洋電装株式会社 | | 代表取締役 | 桑原 弘明 |
| 9 | OT | ヒロコン株式会社 | | 代表取締役 | 和田 裕幸 |
| 10 | 製造 | 株式会社インタフェース | | 取締役 | 鎌田 尚彦 |
| 11 | IT | デジタルソリューション株式会社 | | 代表取締役 | 上田 寛治 |
| 12 | IT | 株式会社オプトプランニング | | 代表取締役 | 高橋 玲子 |
| 13 | OT | 株式会社シリウス1 | | 代表取締役 | 竹田 邦雄 |
| 14 | 製造 | 株式会社ヒロテック | 情報技術研究所 | 主任研究員 | 川邊 剛 |
| 15 | IT | 株式会社ビーシーシー | | 代表取締役社長 | 関谷 洋 |
| 16 | OT | 株式会社メカトロデザイン | | 社長補佐 | 川野 和彦 |
| 17 | 商社 | 株式会社 ICHIKAWA | | 執行役員 | 広沢 秀起 |
| 18 | OT | 小田原工業株式会社 | | 専務取締役 | 小田原大輔 |

< 賛 助 会 員 >

| NO | 業種 | 会 社 名 | 所 属 | 役 職 | 氏 名 |
|----|----|-----------------|--------------------------|-------------------------|-------|
| 1 | 金融 | 広島銀行 | デジタル戦略部 | 部長 | 瀬尾 浩一 |
| 2 | 団体 | (公財)ひろしま産業振興機構 | 企業支援統括担当 | 常務理事 | 荒神雄一郎 |
| 3 | 団体 | ひろしまサンドボックス | 広島県商工労働局 イノベーション推進チーム | 地域産業IoT等活用 推進プロデューサー | 中井 哲也 |
| 4 | 教育 | 広島県立技術短期大学校 | | 校長 | 池宗 良雄 |
| 5 | AI | 株式会社アドダイス | | 代表取締役社長 | 伊東 大輔 |
| 6 | IT | 株式会社日立システムズ | 営業統括本部 | 事業主幹 | 村上 稔 |
| 7 | OT | 株式会社オフィスエフエイ・コム | 広島出張所 | | 河原 睦之 |

メイドインひろしまIoT協議会 入会申込書

年 月 日

メイドインひろしまIoT協議会
設立準備会 代表 福井五郎 宛

社 名

所 在 地

代表者名

メイドインひろしまIoT協議会の目的（規約第2条）に賛同し、規約を承認の上で、入会を申し込みます。

| | | | |
|--|--|------------------------------------|----------------|
| 会 員 区 分 | <input type="checkbox"/> 正会員（法人、団体） ・ <input type="checkbox"/> 正会員（個人） ・ <input type="checkbox"/> 賛助会員 （※会員区分の <input type="checkbox"/> を <input checked="" type="checkbox"/> に変えてください。個人会員の方は*のみご記入ください） | | |
| 社 名 | | | |
| 住 所 * | 〒 | | |
| | TEL : | | |
| 代 表 参 加 者 | 役 職 名 | | |
| | 氏 名 * | か な * | |
| | 電 話 * | | |
| | e-mail * | | |
| 連 絡 窓 口 ★必要な場合は追加連絡先をご指定下さい emailを同報します | 役 職 名 | | |
| | 氏 名 | か な | |
| | 電 話 | | |
| | e-mail | | |
| 資 本 金 | | 設 立 年 月 日 | |
| 主 たる 株 主 | | | |
| 従 業 員 数 | 総 数 | 名 | (内) IoT 関連要員 名 |
| 会 社 沿 革 | | 主 な 業 務 * | |
| 正会員は、下記何れかの委員会への登録（1委員会以上）をお願いいたします。 “ <input type="checkbox"/> ”チェックしてください。複数名の参加可能です。参加者は入会後に登録していただきます。 ※委員会の下部活動組織に部会・WGがある場合がありますが、入会后自由にご参加ください。 | | | |
| <input type="checkbox"/> 共同受注・共同開発委員会 * | | <input type="checkbox"/> 技術研究委員会 * | |
| 設立準備会承認年月日 | 年 月 日 | | |

日本語：メイドインひろしまIoT協議会

英語：Made In Hiroshima IoT Association

略称：M i H i A（ミーア）

（名称の意味）

IoT・AIによる様々な事業の変革が進んでいますが、首都圏企業の独壇場のようなところがあり、地方都市が置き去りにされそうな危惧があります。そこで敢えてMade In Hiroshimaを広島発IoTビジネスの接頭語に掲げ、県内でIoTによるビジネス拡大を志向する企業の皆様に集まっていただく“場”を立ち上げることといたしました。

ミーア(mia)というのはイタリア語で、「私の」という意味です。

協議会は個々の参加企業（私）を大事にした運営を目指します。

〒732-0826 広島市南区京橋町10-21

株式会社インタフェース内

メイドインひろしまIoT協議会（M i H i A）

事務局長 吉川洋充

TEL：082-262-7777 Email：kikkawa@interface.co.jp